

一 般 質 問

令和3年第4回九戸村議会定例会

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 中村國夫	1 村長の村政運営の考え方について	(1) 本村は、少子・高齢化、人口減少、県立伊保内高校の存続、子育て・教育環境の整備など、多くの課題を抱えている。令和4年度当初予算編成の時期を迎え、来年度は何に重点をおいて取り組まれるのか、具体的な取組項目と所信を伺う。	村長
		(2) コロナ禍の中、第5波により全国的に経済が低迷し、本村でも飲食業、小売業、農業など、数多くの業種に多大な影響が生じている。令和4年度は、コロナ禍以前のような活気のある村を取り戻すために、どのような経済対策を考え、村政運営を進めていくのか伺う。	村長
	2 本村の空き家対策と推進体制について	(1) 現在の空き家バンクの登録状況と利用実績について伺う。	村長
		(2) 本村の空き家対策の推進体制は、どのような状況にあるのか。 空き家対策を推進していくためには、推進体制の充実・強化が必要と考えるが、村の考えを伺う。	村長
	3 カーボンニュートラルについて	(1) 先般、国連では、COP26 が開催されましたが、2050年カーボンニュートラルは、今や待ったなしの世界的課題である。 政府は、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目標に脱炭素社会の実現を目指すと言明をした。 本村として、どのように取り組んでいくのか伺う。	村長
		(2) 再生可能エネルギーは、将来有望なエネルギー源とされている。 様々な再生可能エネルギーについて、本村としてどのように考えているのか伺う。	村長

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2 川戸茂男	1 農業振興について	<p>(1) コロナ禍でコメの需要が低迷し、米価が大幅に下落していることや、大規模な葉タバコの廃作が勧められている中であって、本村の基幹産業である農業の振興策について、村長の考えを伺う。</p> <p>(2) 繁殖用雌牛導入事業に、自家保留の繁殖雌牛も対象にできないか、村長の考えを伺う。</p> <p>(3) 農業共済組合の支援により実施してきた牛舎消毒事業が、来年度から農業共済組合の支援が無くなるため、村の支援により継続できないか、考えを伺う。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p>
3 坂本豊彦	<p>1 農業振興について</p> <p>2 教育振興について</p>	<p>(1) 新年度予算における重点農業振興策は何か。</p> <p>(2) 九戸村の目指す農業の将来像の具現化に向けた、新規重点事業の取り組みについて伺う。</p> <p>(3) 遊休農地の実態を踏まえた解消策並びに支援策について伺う。</p> <p>(4) 米価下落に対応した、九戸村水田農業振興策並びに支援策について伺う。</p> <p>(5) 新規就農者の確保策並びに支援策について伺う。</p> <p>(1) 安全・安心な教育環境整備について、村内小中学校は、建築後相当な年数が経過し、改修や修繕が必要とする施設があると思われるが、今後の改修予定と予算について伺う。</p> <p>(2) 学校再編計画について、九戸村教育委員会では、村内子育て世代をはじめ、あらゆる方面の方々から意見を聞くナインズミーティング 2（教育懇談会）が開催されたが、今後いつ、どのような形で方向性を示すのか伺う。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4 久保 えみ子	1 若い世代にとって定住したくなる魅力ある村づくりについて	<p>(1) 若者が減り農地が荒れ、このままでは地域がもたないという状況を転換するためには若者が希望を持って元気に暮らせる農山村を築く村づくりが必要です。そのための施策について次の点を伺う。</p> <p>① 若者が定住するうえで絶対条件は生活ができる所得を得ることが必要だが、村としてそのための支援対策をどう取り組んでいくのか伺う。</p> <p>② 農業経営が成り立つような若者の就農の条件整備についての考えを伺う。</p> <p>③ 食糧危機、気候危機が世界的大問題となり、脱炭素社会の実現をはじめ持続可能な社会にするうえで農業と農山村の再生は待ったなしとなっている。自然豊かな農山村として九戸村はこれからの若い世代にとって魅力ある村になっていく条件を持っていると思う。 若い世代に豊かな自然環境を引き継いでいけるような村づくりが重要と考えるが見解を伺う。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p>
	2 米価の暴落問題について	(1) 生産費をまかなえない米価になり、このままでは米作りを続けられない深刻な事態となっている。村としてどのような対策を検討しているのか伺う。	村長
	3 国保税の子どもの均等割の軽減について	<p>(1) 子育て支援に逆行している子どもの均等割を国は2022年4月から未就学児の均等割5割軽減することを決めました。 村として独自に子どもの均等割の軽減を上乗せして高校卒業まで拡充して高すぎる国保税の負担軽減を行うべきと考えるが見解を伺う。</p>	村長

